

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第27週の発生動向

今週のトピックス

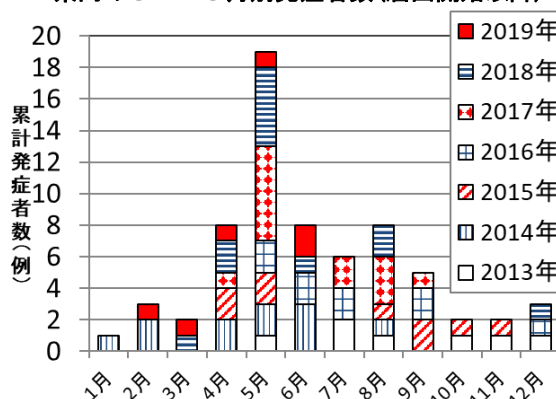
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市及び日南保健所管内から1例ずつあった。患者は60歳代及び80歳代の男性で、いずれもダニの刺し口があった。県内での報告は今年5例目と6例目で、累計67例(平成25年3月届出開始以降)となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	17	22	16	5

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



全数報告の感染症 (27週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核7例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症22例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群2例、
- 5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、百日咳4例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	肺結核及び気管支結核	咳
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、血痰
			90歳代	女	疑似症患者	血痰
		都城	0~4歳	女	無症状病原体保有者	—
		高鍋	40歳代	女	無症状病原体保有者	—
			50歳代	女	無症状病原体保有者	—
日向	60歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難		
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	※22例(患者12例、無症状病原体保有者10例) 【表1】に年齢別報告数、【表2】にO血清型別報告数を示す。 患者の主な症状は、水様性下痢、嘔吐、発熱、軟便、腹痛(HUS発症例なし)			
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、神経症状、腹痛、下痢、嘔吐、血小板・白血球減少、紫斑など
		日南	80歳代	男	—	発熱、下痢、血小板・白血球減少、リンパ節腫脹、刺し口
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	ショック、DIC、軟部組織炎
		宮崎市	10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐
	都城	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み	
	高鍋	10歳代	女	—	持続する咳	
	日向	10歳代	女	—	持続する咳	

【表1】年齢別報告数 (都城保健所管内)

0~4歳	5~9歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
10	2	3	3	1	2	1

【表2】O血清型別報告数 (都城保健所管内)

	VT1、2	VT1
O111	21	
不明		1

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は576人(定点当たり17.4)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した疾患は感染性胃腸炎と伝染性紅斑で、減少した主な疾患は手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

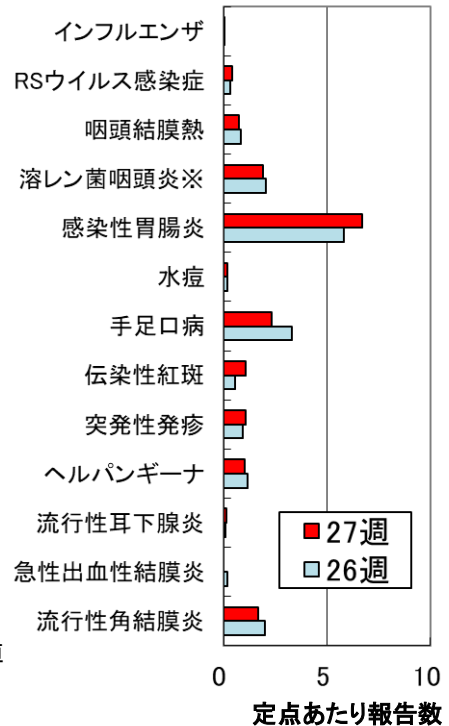
報告数は242人(6.7)で、前週比115%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(7.4)の約0.9倍である。日向(9.5)、小林(9.0)、都城(8.7)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~3歳が全体の約半数を占めている。

【伝染性紅斑】

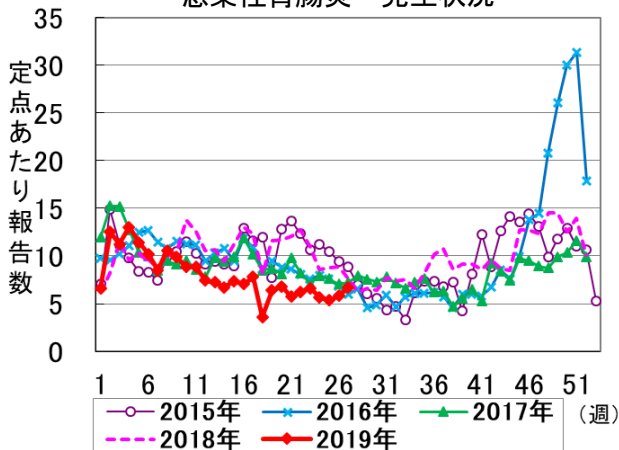
報告数は39人(1.1)で、前週比193%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.31)の約3.5倍である。日南(2.7)、高千穂(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では4~6歳が全体の約6割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

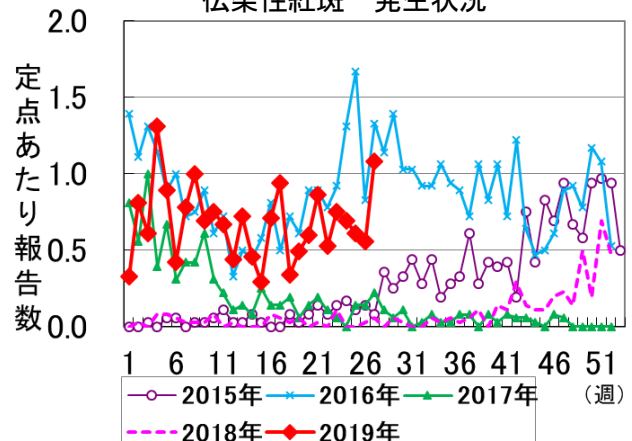
《前週との比較》



感染性胃腸炎 発生状況



伝染性紅斑 発生状況



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(5.3)、伝染性紅斑(2.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	伝染性紅斑(2.0)
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

🇯🇵 全国 2019 年第 26 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 26 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	372 例				
3類感染症	細菌性赤痢	5 例	腸管出血性大腸菌感染症	126 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	10 例	A 型肝炎	5 例	エキノコックス症	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	7 例	チクングニア熱	3 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	7 例	日本紅斑熱	2 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	72 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	20 例	後天性免疫不全症候群	17 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	30 例
	水痘（入院例）	9 例	梅毒	97 例	破傷風	1 例
	百日咳	325 例	風しん	32 例	麻しん	6 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 105%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎である。

手足口病の報告数は 21,258 人(6.7)で前週比 129%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (2.2) の約 3.0 倍である。福井県(21.8)、福岡県(16.1)、鳥取県(14.3)からの報告が多く、年齢群別では 1～2 歳が全体の約 6 割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は 4,554 人(1.4)で前週比 121%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (1.6) の約 0.9 倍である。福井県(5.3)、三重県(3.4)、福岡県(3.3)からの報告が多く、年齢群別では 1～2 歳が全体の約 6 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第27週(07月01日～07月07日)

疾病名		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	3								3	
	定点当り	0.03	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	11	15	5	2	5			1		2	
	定点当り	0.31	0.42	0.50	0.33	1.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	31	27	3	2	2	16		3		1	
	定点当り	0.86	0.75	0.30	0.33	0.50	5.33	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	74	69	22	13	17	5	5	4		2	1
	定点当り	2.06	1.92	2.20	2.17	4.25	1.67	1.67	1.00	0.00	0.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	210	242	56	52	9	25	27	22	7	38	6
	定点当り	5.83	6.72	5.60	8.67	2.25	8.33	9.00	5.50	7.00	9.50	6.00
水痘	報告数	7	7	3	2	1	1					
	定点当り	0.19	0.19	0.30	0.33	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	119	84	42	7	12	3	4	8	1	5	2
	定点当り	3.31	2.33	4.20	1.17	3.00	1.00	1.33	2.00	1.00	1.25	2.00
伝染性紅斑	報告数	20	39	15	4	7	8		1	2	2	
	定点当り	0.56	1.08	1.50	0.67	1.75	2.67	0.00	0.25	2.00	0.50	0.00
突発性発しん	報告数	33	38	11	8	9	3		4		3	
	定点当り	0.92	1.06	1.10	1.33	2.25	1.00	0.00	1.00	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	42	37	4	22	3		1	2		5	
	定点当り	1.17	1.03	0.40	3.67	0.75	0.00	0.33	0.50	0.00	1.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	5	1	1	2			1			
	定点当り	0.08	0.14	0.10	0.17	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	10	10								
	定点当り	2.00	1.67	3.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2										
	定点当り	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～27週)

2類感染症	結核	119例(7)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	27例(22)		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例
	レジオネラ症	5例		
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9例(1)	後天性免疫不全症候群	1例
	梅毒	13例	播種性クリプトコックス症	1例
	百日咳	160例(4)	風しん	1例
			重症熱性血小板減少症候群	6例(2)
			日本紅斑熱	3例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
			クリプトスポリジウム症	1例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			破傷風	1例
			麻しん	1例

()内は今週届出分、再掲